

第7回 今後の幼児教育の教育課程、指導、評価等の在り方に関する有識者検討会

特別な配慮を必要とする幼児への指導

東京家政学院大学
和田美香

概要

01. 特別な配慮を必要とする幼児（特に発達障害の幼児）をとりまく園の現状
02. 特別な配慮を必要とする幼児（特に発達障害の幼児）を指導する園の課題
03. 幼稚園の実践から考える目指したい園の環境

第1章 第5

特別な配慮を必要とする幼児への指導

障害のある幼児などへの指導に当たっては、**集団の中で**生活することを通して全体的な発達を促していくことに配慮し、**特別支援学校などの助言**又は**援助を活用**しつつ、**個々の幼児の障害の状態**などに**応じた指導内容**や**指導方法の工夫**を**組織的かつ計画的**に行うものとする。

01-1. 幼稚園教育要領より抜粋

- 1 . 集団の中で生活することを通して全体的な発達を促していくことに配慮
- 2 . 特別支援学校などの助言または援助を活用
- 3 . 個々の幼児の障害の状態などに応じた指導内容や指導方法の工夫

01-1-1

集団の中で生活することを通して全体的な発達を促していくことに配慮

- ・ 保育の現場では、集団での育ち合いを重視して障害児保育の実践を積み重ねてきた歴史がある。
- ・ 障害のある幼児に対する個別支援は、主に療育センターなどにおいて具体的な実践内容、方法が検討されている。
- ・ 発達障害のある幼児に対する園生活における効果的な保育内容・方法を明らかにした研究は少なく、当該児の保育プログラムをどのように立案し、個々の幼児の発達をどう促進していくかということについて、明確に示している文献は少ない。
- ・ 障害児保育の実践は、個々の保育者の努力にゆだねられている現状がある。

01-1-2

特別支援学校などの助言又は援助を活用

外部機関からの助言の有無

n = 491

令和元年度 文部科学省から所属大学のチームが受託した「幼児教育の教育課題に対応した指導方法等充実調査研究」より引用

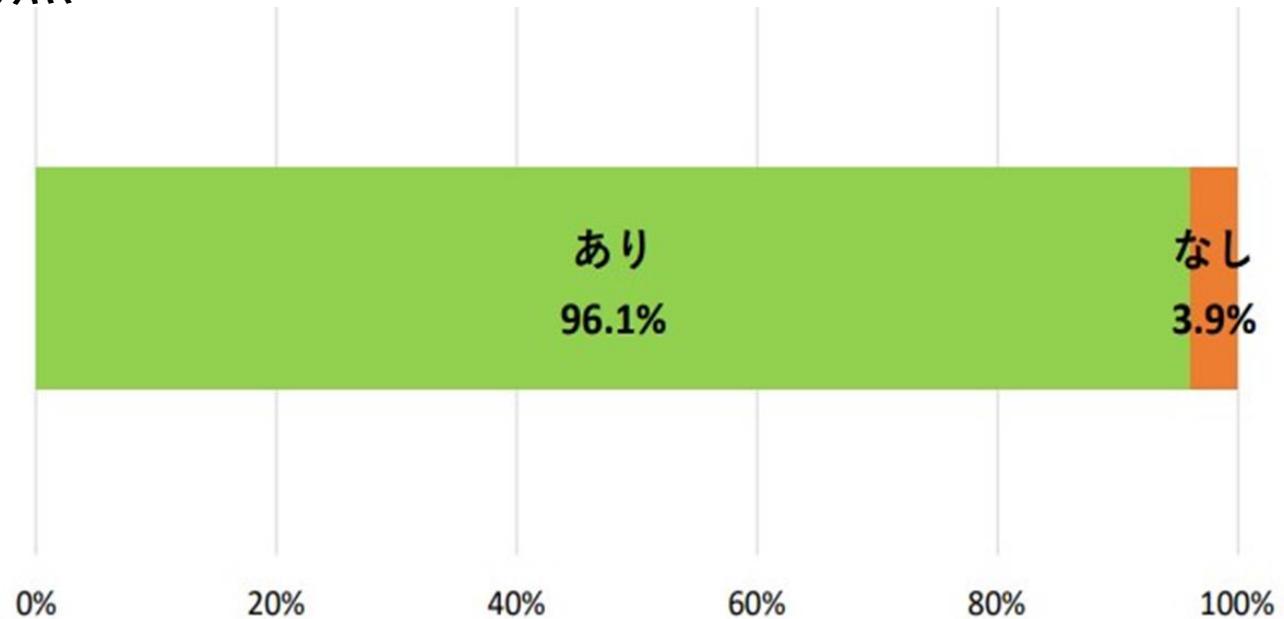


図1

01-1-2

特別支援学校などの助言又は援助を活用

助言を受けた外部機関
n = 491

令和元年度 文部科学省から所属大学のチームが受託した「幼児教育の教育課題に対応した指導方法等充実調査研究」より引用

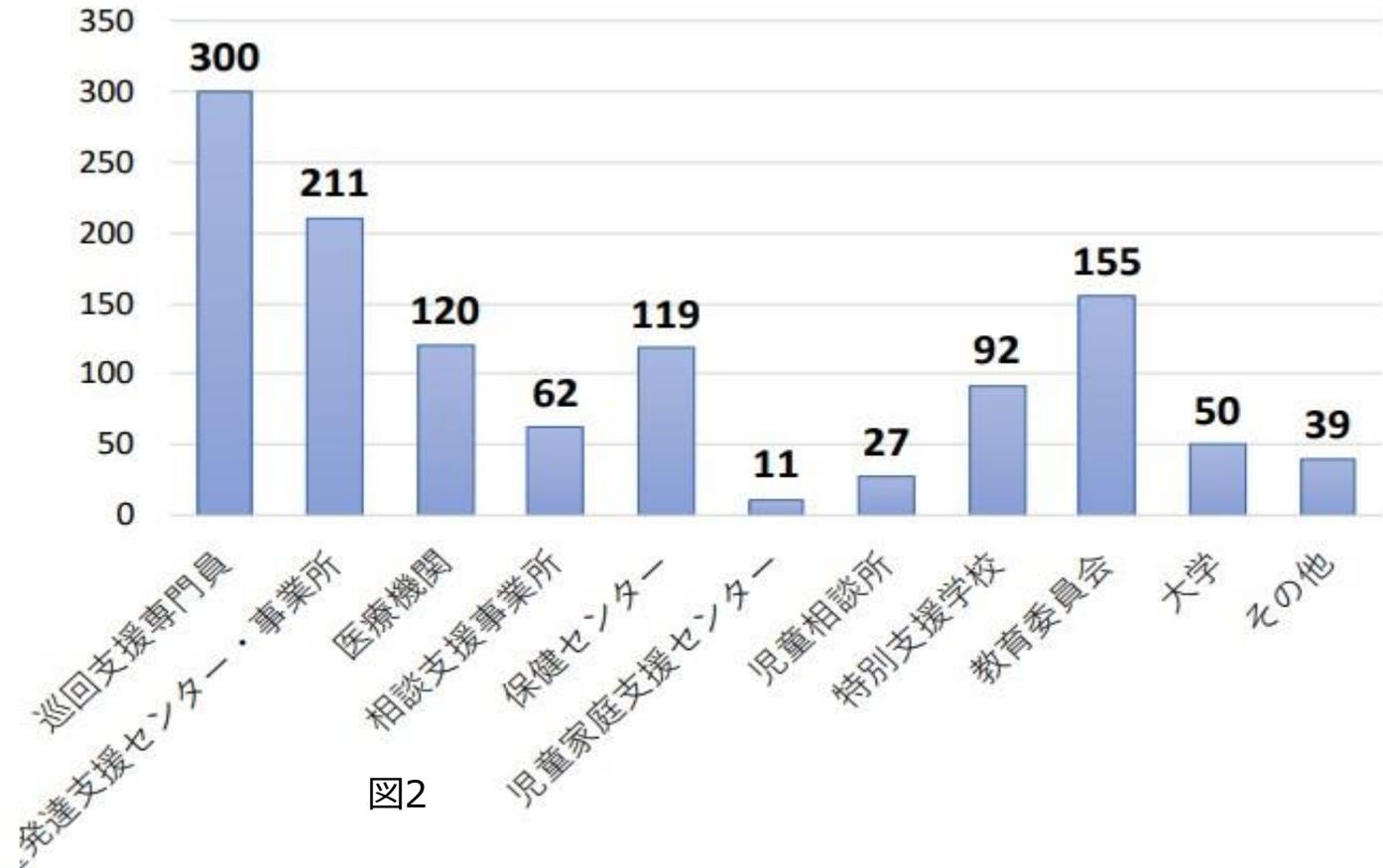


図2

01-1-3

個々の幼児の障害の状態などに応じた指導内容や指導方法の工夫

- ・ 多くの園で語られる「気になる子」の存在
- ・ 「保育が難しい」「困っている」と感じる現状

→「気になる子」とは、顕著な知的な遅れがないにも関わらず「**子ども同士のトラブルが多い**」「**自分の感情をうまくコントロールできない**」「**多動である**」などの行動特徴をもつ子どもであると定義（本郷ら，2003）。

- ・ 「気になる子」は園に多数在籍し、「**保育の難しさ**」と「気になる子」には相関がある（平澤ら，2005）。

- ・ 発達障害の特性のある子どもを担当している保育者は多くの困難を抱えており、その困難は決して軽いものではなく、障害が見えにくいいため、発見されにくい、認められにくい、理解されにくい（郷間ら，2008）（下野ら，2007）。

01-1-3

個々の幼児の障害の状態などに応じた指導内容や
指導方法の工夫

継続して保育者を支援できるシステム作りが課題

園内における専門的知識の充実も

→研修の必要性

→加配保育者の質も担保

02.

特別な配慮を必要とする幼児を指導する園の課題

- ・ 園内における専門的知識の充実
- ・ これらの内容に特化した研修の必要性
- ・ 加配保育者の質も担保する

⇒幼児の特性を認識した上で、幼児自身が選択できる適切な環境を作ることができるように。

03. 幼稚園の事例から考える目指したい環境



出典：柚木武蔵野幼稚園

03.

幼稚園の事例から考える目指したい環境

親の会

園の文化に変化が…

- ・「目指すのはその子の自立」
- ・「やり方はいろいろある」
- ・「一緒にその子の幸せを考えましょう」



専門的な知識を持ったサポーター

(園内で育成)

- ・保護者が学び続けて（卒園後）園に就職
- ・園のサポーターの確保

指導の方向性
の確認

専門知識

パニックになったらクールダウンの空間を選ぶことができる



出典：柚木武蔵野幼稚園

保育者はその子どもが望む環境を用意



出典：柚木武蔵野幼稚園

誰でもその空間を利用できる



出典：柚木武蔵野幼稚園

刺激があれば… 座っていただける



出典：柚木武蔵野幼稚園

揺れていれば… 落ち着いて話を聞くことができる



出典：柚木武蔵野幼稚園

クッションの中ならば… 落ち着くことができる



出典：柚木武蔵野幼稚園

それぞれ気に入った椅子を選べる



出典：柚木武蔵野幼稚園

多動の子どもは動いている方がパフォーマンスがあがる

(事例)

歩きながらハサミを使う A 児

- ・「危ない」と止めていた。
- ・でも座ると「切れない！！！」とパニックに…
- ・円を描いて「この中なら歩いていいよ」と伝えたところ…
- ・とてもスムーズに切ることができた！

出典：柚木武蔵野幼稚園

その子どもにあった環境づくり

- ・ 場所を選べる
- ・ 順番を選べる
- ・ 学び方を選べる

⇒個別最適な学び

⇒その環境を作るための試行錯誤
(そこには専門的な知識が必要)

引用文献

-
- ・東京家政学院大学（2020）幼稚園等での個別の指導計画の実効性を高める条件に関する調査研究，令和元年度文部科学省委託研究
 - ・星山麻木・武蔵野幼稚園（2016）気になる子どもみんな生き生き保育，河出書房新社
 - ・和田美香（2021）衝動・多動傾向のある子どもに対する保育者の困り感と対応の現状－質問紙調査の結果より－，保育学研究，59（2），75-85.
 - ・本郷一夫・澤江幸則・鈴木智子・小泉嘉子・飯島典子（2003）保育所における「気になる」子どもの行動特徴と保育者の対応に関する調査研究，発達障害研究，25，50-60.
 - ・平澤紀子・藤原義博・山根正夫（2005）保育所・園における「気になる・困っている行動」を示す子どもに関する調査研究－障害群からみた該当児の実態と保育者の対応及び受け持っている支援から－，発達障害研究，26，256-266.
 - ・郷間英世・圓尾奈津美・宮地知美・池田友美・郷間安美子（2008）幼稚園・保育園における「気になる子」に対する保育上の困難さについての調査研究，京都教育大学紀要，113，81-89.
 - ・下野未紗子・稲富眞彦（2007）保育所における「気になる」子ども－行動特徴，保護者の対応，親子関係について－，高知大学教育学部研究報告，67，11-27.